

尺度の作成

- 1973 SII (Greever et al.)
- 1973 SSSI (Sulliman)
- 1975 SIS (Crandall)
- 1982 LSPI (Wheeler et al.)
- 1986 佐方：SIIを独自に日本語化「社会的関心尺度」（仕事／交友／自己有意性／愛）
- 1993 BASIS-A (Wheeler)
- 1998 岡戸：SIIを翻訳（32項目中16項目）
- 2006 SII-Short Form (Leak)（11項目）

ここまで性格特性的尺度

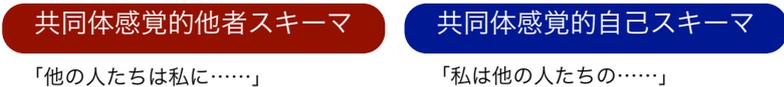
- 2011 高坂：共同体感覚尺度（中学生～大学生）【3因子】



- 2012 服部：成人用共同体感覚尺度



- 2012 橋口：小学生用共同体感覚尺度【2因子】



レビュー論文として丸尾・中島 (2009)

一目でわかる

共同体感覚

アドラー心理学の中心概念

定義

具体的

- 他者に対する興味と関心 (Crandall, 1981)
- 自己への興味を超越した、共同体や人の幸福への純粋な関心 (Ansbacher, 1991)
- 永遠に続くと考えられる共同体を得ようと努力することへの興味や感情 (Adler, 1956)

抽象的

● 私には能力がある
人々は仲間だ (野田, 1987)

能力

仲間

共同体とは？

- 仕事
- 交友
- 愛（一対一の関係）

- 実在（自己存在）
- 宇宙

親子：アメリカでは「交友」、日本では「愛」？

なぜ重要か？

現代において共同体感覚がなぜ重要なのか？